

新型コロナ収束に向けての行動を

新型コロナウイルス感染症は、令和2年2月にクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で集団感染が起きて以来日本でも徐々に陽性者が増え、令和2年4月9日に島根県でも初の陽性者が出ました。

以来、社会や経済も新型コロナウイルス感染症に翻弄される毎日が続いてきました。そして、体育イベントや文化イベントは中止か無観客になるなど、私たちの生活や活動にも大きな影響を及ぼしています。

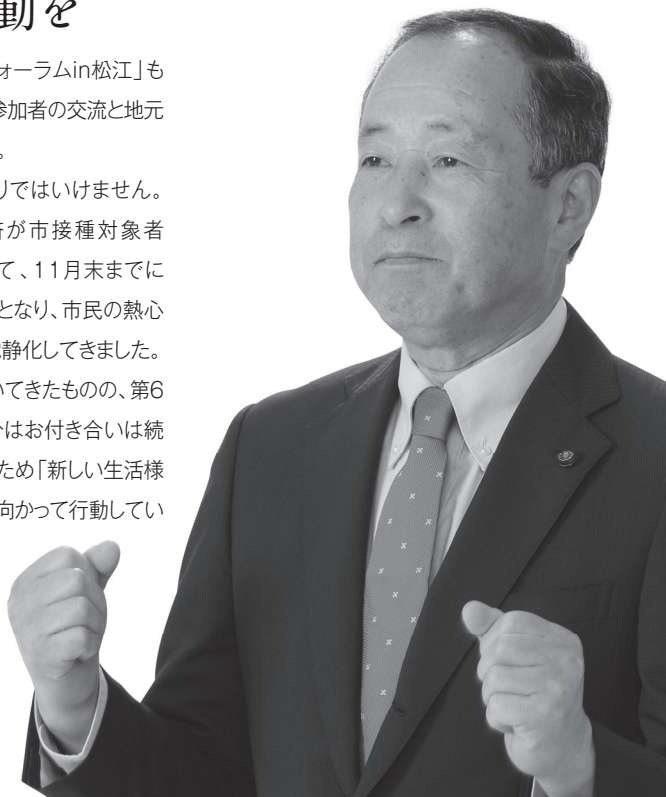
議員としても、市や地域の行事の殆どに出席することなく、11月に予定された「全

国市議会議長会研究フォーラムin松江」も中止となり、約2千人の参加者の交流と地元経済寄与も消失しました。

後ろを見て嘆くばかりではいけません。ワクチン2回目接種済が市接種対象者(12歳以上)において、11月末までに85%以上となる見込みとなり、市民の熱心な取り組みで第5波は沈静化してきました。

コロナ感染が落ち着いてきたものの、第6波が懸念され、この当分はお付き合いは続きそうです。感染予防のため「新しい生活様式」を実践しつつ収束に向かって行動していきたいものです。

野々内は、一般質問のあった9月14日と15日の午後、質問議員の3分の1にあたる7議員の質問・答弁についての進行を議長代理として務めました。



大雨災害対策・ コロナ対策補正予算などを議決 9月定例議会

9月市議会は、9月8日から10月8日までの29日間の会期で開会、令和2年度決算審査と大雨災害対策、新型コロナウイルス感染症対策等が主な内容でした。市長提案の議案17件(条例案件3件、単行案件8件、予算案件6件)、承認案件1件

(専決処分報告・令和3年度一般会計補正予算第5号)、令和2年度決算案件14件は、全て原案可決又は承認されました。このうち一般会計の補正予算2件は、今夏の大雨災害対策と新型コロナ対策が主なものでした。

陳情1件(核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書提出を求める)は否決、陳情8件(島根原発2号炉再稼働促進系)は閉会中の継続審査となりました。

また、議員提出議案4件のうち「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」と、我が松政クラブ発議の2件「水害対策を確実に実施するための支援を求める意見書」、「学校における教育体制の充実を求める意見書」を議決しました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

玉井斎場管理組合議会副議長に就任など

美保関町にある玉井斎場。その管理組合議会の臨時会が7月30日に開会。副議長選挙があり副議長に就任しました。

松江市と境港市が玉井斎場管理組合を組織し、松江市・境港市の両市民が利用可能です。森岡議長(境港市議会議長)を補佐する役割を果たしつつ、組合の管理運営に努めます。

また、8月26日に「山陰新幹線・伯備新幹線整備促進松江市民議員連盟」総会が開催。役員改選で、野々内は今まで幹事長を務めていましたが、会長に選任されました。

山陰新幹線と中国横断新幹線(伯備新幹線)の2つの新幹線の具体的な進展を図るため、市執行部や圏域の市議会等と連携して取り組む考えです。



新幹線議連での挨拶

議会を代表しての挨拶

市議会を代表しての挨拶をする機会があります。8月7日には、くにびきメッセで「令和3年度 松江市失語症者向け意思疎通支援者養成研修開講式」が行われ、市議会を代表して出席し祝辞を述べました。

10月14日、中国電力島根原子力発電所を18議員で視察。島根原子力発電所2号機が新規基準に適合している判断がされたことから、安全対策をされた発電所の現状を直接確認するのが目的でした。視察後の質疑応答の後、野々内は視察者を代表して挨拶をしました。



研修開講式



原発視察で挨拶

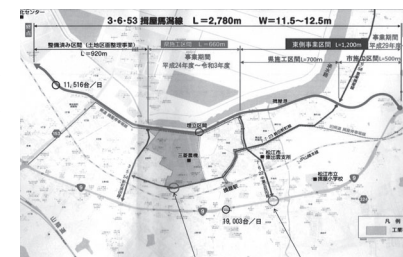
ビック開店後の課題

10月9日にJR揖屋駅南側にディスカウントストア「ザ・ビック東出雲店」が開店。近くの保健相談センター周辺は今後松江市役所東出雲支所と東出雲公民館等の複合施設が建設される予定です。市道中灘5反田線を経由して複合施設に行くこととなりますが、施設計画時とは違う「ザ・ビック」の出店で周囲環境は大きく異なり、今でも渋滞している道路が更に渋滞し、目的の複合施設に行けるのかと危惧する声を多く聞きます。交通状態の今後の推移を見守りたいと思っています。

揖屋馬潟線の部分開通など

10月20日に「揖屋馬潟線建設促進会議」の総会がありました。席上、現在施工事業が進む錦新町から揖屋中灘までの区間延長660mは、11月25日午後が開通することが明らかになりました。

また、東側事業区間の延長1,200m内における埋蔵文化財調査では記録保存相当となり、計画路線の線形は変更がないことが明らかになりました。今後は、用地補償や工事が進む見込みです。引き続き全線の早期完成に向けて努力していきます。



中央部分が具施工区画 L=660m

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.41を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在70歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選平成29年4月3期目当選 令和3年4月4期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

課題 クローズアップ

Assignment close up



市道西川津西尾線 地すべり災害現場 復旧には1年以上かかる



下意東・磯近の護岸崩壊



意宇川の越水状況

今夏の豪雨災害を振り返る

近年は台風の大化や線状降水帯による極端な集中豪雨が多発しています。松江市でも7月4日から13日までの梅雨前線豪雨、8月7日から10日までの台風9号、8月12日から15日までの豪雨。特に7月7日早朝は線状降水帯が形成され1時間に100ミリの猛烈な雨が降ったとみられ、「記録的短時間大雨情報」が発表され

ました。意宇川の森脇頭首工付近では両岸とも近年なかつた越水が発生しました。

これらの豪雨によって災害が多く発生。災害復旧のための国の査定が終わらず、復旧を待つ多くの現場が今も多くあります。

幸いに人的被害はありませんでしたが、大きな被害を出したこの豪雨の傷跡を振り返ってみます。

松江市全体の被災状況

松江市における市管理の公共施設(道路や河川など)の災害件数は総数735件で総額は18億7千万円余に及びます。このほか農林関係の災害も多く発生しています。災害の内訳は左記の図のとおりです。(9月市議会資料から)

公共施設	道路関係	321件	
	河川関係	270件	
	公園関係	30件	
	学校関係	38件	
	公民館関係	12件	
	文化財関係	6件	
	上下水道関係	58件	
	計	735件	18億7,200万円余
農地・林業施設関係		243件	4億1,100万円余
林業施設関係		111件	4億4,100万円余
合計		1,089件	27億2,500万円余

市ではこのため被災者の支援や災害箇所への応急措置などを早急に行うため、7月29日付けで一般会計予算5億8,800



現地調査を実施しました(上意東・畑地内の災害現場)

今回の豪雨災害の遠因は、地球温暖化による異常気象だと思われまます。温暖化を阻止する行動、即ち大気中の二酸化炭素(CO2)濃度を下げる行動をとらなければ、何百年に一度の災害が毎年起こることも想定しなければなりません。身近な災害も地球規模の影響と直結していることも自覚が必要になってきました。

11月定例議会予定

- 11月30日(火) 本会議(会期の決定、提案説明)
- 12月6日(月) 一般質問
- 7日(火) 一般質問
- 8日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 9日(木) 総務委員会・予算委員会総務分科会
- 10日(金) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
- 13日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会
- 14日(火) 建設環境委員会現地視察
- 17日(金) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
- 21日(火) 予算委員会(分科会長報告質疑・討論採決) 本会議(委員長報告質疑討論採決、閉会)

今後の対策や教訓

今後、国の査定後に本格的に災害復旧工事が始まる見込みですが、松江市や松江県土整備事務所では被害の程度や現場条件などを勘案し、順次工事や調査設計を発注していくとのこと。

そして、野々内は市や県に対し速やかに災害復旧工事が進むように働きかけていきたいと考えていますが、箇所数が多いため、次の出水期までに工事が間に合わない箇所もあると思われるので、お近くの方については引き続きご注意いただきたいと思えます。

市関連の被害の大きい箇所

河川災害	畑川	東出雲町上意東	護岸崩壊 32m
	畑川	東出雲町上意東	護岸崩壊 40m
	奥谷川	八雲町平原	護岸崩壊 延長=39m
	須谷川	八雲町西岩坂	護岸崩壊 延長=37m
道路災害	磯近・町線	東出雲町下意東	護岸崩壊 延長=13m
	磯近東堤防線	東出雲町下意東	護岸崩壊 延長=10m
	中意東線	東出雲町下意東	路肩崩落 延長10m
	中意東東堤防1号線	東出雲町下意東	路肩崩落 延長=15m
	若須線	八雲町熊野	路肩崩壊 延長=17m
農業施設(国庫補助災害のみ)	意宇川竹矢井堰	大草町	頭首工災害
	頭首工=上意東1件 農地(田)災害=東出雲町上意東2件、揖屋2件、下意東1件 八雲町平原5件、東岩坂2件、西岩坂1件 農道=大庭町1件		

東出雲町・八雲町・意宇川流域の被害の大きい箇所

意東川とその支流・畑川、羽入川、市の原川上流等、河川と隣接市道に多くみられます。八雲町では、意宇川や支流の奥谷川、須谷川地域等に多く発生しています。東出雲町内での住居への浸水事案は、錦新町7丁目周辺での複数戸の浸水が番大きく、町内各所で床下浸水や道路冠水が出ました。一

方、錦新町の浸水防止に効果があると思われる「西部承水路(普通河川)」の緊急浚渫推進事業を令和6年度までの間実施し、堆積土砂225m掘削を行うことがわかりました。今後、浸水原因の究明と対策を働きかけていきます。

島根県所管分

一方、松江市内における県管理公共土木施設災害(道路、河川、砂防)の被害報告額(7~8月)は全体で約200箇所約30億円、7月4~13日の梅雨前線による被害が最も甚大で約170箇所約26億円となっており、県農林関係では地すべりが8箇所(内、1箇所が東出雲町上意東奥組)、治山が5箇所の被害があったと聞いています。

東出雲町においては、意東川・羽入川市の原川で約20箇所、八雲町においては、意宇川・桑並川・東岩坂川・平原川で約30箇所と河川災害だけで市全体の3割以上(箇所数ベース)であり、両町における今回の大雨被害の大きさがわかっていただけていると思えます。